# BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Club of JAPAN



2007.4.21 Vol.87

[特集] 第 42 回日本 BPW 連合会 『和歌山大会・総会』

# **CONTENTS**

巻頭メッセージ 『和歌山から「ありがとう」』 和歌山クラブ会長 高嶋洋子

和歌山大会・総会報告
・第 42 回日本 BPW 連合会総会
・BPW パートナーシップ エパリュエーション賞
・日本 BPW 連合会新役員紹介
・基調講演要旨
・ワークショップ報告

特別寄稿:「自然科学系分野における男女共同参画の現状と東北大学の取り組み」 布柴達男

第4回ヤングスピーチコンテスト 全国大会審査結果

直近ブロック研究会のお知らせ

会報38号掲載広告ご協力一覧

日本 BPW 連合会ニュースレター 発行人: 黒崎伸子 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116 TEL.03-3348-7644 FAX.03-3348-7648

E-mail=pub@bpw-japan.com ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

和歌山から「ありがとう」

山が笑っているかのように、和歌山城の桜ももうすぐ満開になろうかというこの時期、ここ和歌山に北から南からたくさんの方を迎えることができました。こんなうれしいことはありません。連合会が来年50周年をむかえるということでありますが、私どもはそれに比べれば本当に若輩者で、やっと成人式を迎えたばかりの若とれたはです。なのに厚かましくも2回も、総会を和歌山で開くという暴学に出たわけであります。実は94年に和歌山の加太というところ、紀伊水

BPW 和歌山クラブ会長 高嶋洋子



道に面しました海の見えるところですがそこで29回の総会を開催させて頂きました。先輩のクラブの方々が、会うごとに加太はよかったわね、和歌山とっても印象深いよ、という風な声をかけてくださいます。それに力を得まして、今回も心に残る大会にしたいと、和歌山クラブ全員が知恵を出し、力を合わせて準備をして参りました。記念の品をどうしようかとも話し合いました。和歌山クラブが県や市の主催するイベントに参画するときに必ず掲げている「なぜ女性ではいけませんか?」のポストカードに決めました。私たちがずっと問い続けてきた「なぜ女性ではいけませんか?」これは私たちの活動の原点でもあります。

藤木美奈子さんからは「リーダーシップとコミュニケーション」というご講演をいただきました。あとのワークショップでも自分はリーダーとして何型だろうね、と話題にもなったようです。そしてその4つのワークショップ。年に一度全国からたくさんの方が集まっての総会です。お互いに胸襟を開き、言いたいことを言い合いしながら、明日からの活動の第一歩になったものと確信をしております。BPW の一人ひとりがリーダーシップを発揮しながら、他の働く女性たち、あるいは NPO、いろんな方たちと連携をし、ネットワークを広げていきましょう。和歌山での二日間、本当にありがとうございました。



基調講演講師:藤木美奈子さん

# 第 42 回日本 BPW 連合会 「和歌山大会・総会」報告

第42回和歌山大会が、2006年2月24日~25日に和歌山市内の大和ロイネットホテル和歌山において開催された。初日は、藤木美奈子さんによる「共生社会を作る"リーダーシップとコミュニケーション"』の基調講演と4つのワークショップを公開で実施。セレモニー前に開催した第4回ヤングスピーチコンテストでは、全国5ブロックの代表がそれぞれすばらしいスピーチを展開し、懇親会では「マグロの解体ショー」など、和歌山ならではの企画が盛り込まれていた。2日目の総会も松原議長のスムーズな進行により、議事はすべて議案どおりに承認・可決され、役員改選により新しい執行部が誕生した。担当の和歌山クラブの皆様の細やかな準備と素晴らしい運営に感謝!!

# 第42回日本 BPW 連合会総会

議長松原敏美(和歌山)

書記 上野久代(和歌山) 中西葉子(和歌山)

定数 63 名 出席 61 名

#### 議事

第1号議案 議題の承認

第2号議案の前に、副会長候補者4名からのコメントと 投票を、また4号議案の前に7号議案の規約改正を審 議したいと提案。(佐藤副会長) *拍手にて承認* 

第2号議案 2006年度事業報告 佐藤副会長

企画委員会報告 土田委員長

組織委員会報告 木下副会長

広報委員会報告 佐藤副会長

国際委員会報告 山野委員長

財務委員会報告 塩崎委員長

ヤング委員会報告 二ノ宮委員長

<報告事項拍手にで承認 >

第3号議案 2006 年度会計報告·会計監査報告

2006 年度会計報告 藤田会計

2006 年度会計監査報告 高山会計監査

< 報告事項拍手に T 承認 >

第7号議案 規約改正(案) 藤田会計

年会費の値上げについて

<賛成61 反対0 保留0で可決>

第 4 号議案 2007 年度統一テーマ(案)・

活動方針案(案)について 黒崎連合会会長

<賛成61 反対0 保留0で可決>

第5号議案 2007年度事業計画案(案) 佐藤副会長

<賛成61 反対0 保留0で可決>

第6号議案 2007年度予算(案) 藤田会計

<賛成61 反対0 保留0で可決>

第8号議案 役員改選について 棚田選挙管理委員長

2号議案の前に実施した副会長選挙結果発表

<投票数 61 有効数 60 無効数 1 の結果、塩崎(和歌

山) 余語(東海) 遊佐(仙台)の3名が選出>

第9号議案 その他 なし

# 2007 B P W パートナーシップ エバリュエーション賞 南海市長 神出政巳氏



和歌山県海南市長 神出政巳様は、2002 年市長就任 当時から、女性の登用、また仕事と社会活動に不可欠 である子育てサポーターの養成やセミナーへの取り組 みを積極的に実施してこられました。

ほんの一例ですが、企業関係者、商工会議所女性会、 市の職員が参加し、女性の活用・登用について学習する「ポジティブアクション セミナー」や、女性の再就職に 向けた情報提供と学習会「ワークセミナー」などを、毎年 実施されています。

日本BPW連合会とBPW和歌山クラブでは、これらの 男女共同参画セミナーや学習・啓発事業を評価し、今 年度の『パートナーシップ エバリュエーション賞』を神 出政巳 海南市長に贈呈いたします。

プロフィール

1951年3月 海南市生まれ

明治大学大学院 工学研究科建築学専攻(修士)

1983年4月 海南市議会議員当選(2期7年)

1995年4月 和歌山県議会議員初当選

1999年4月 和歌山県議会議員当選(2期目)

2002年4月 より現職

# 日本 BPW 連合会 新役員紹介 ~ 皆様のご協力をよろしくお願いいたします~

役員 会 長 黒崎 伸子(長崎)

副 会 長 塩崎 智子(和歌山)

副 会 長 余語 三枝子(東海)

副 会 長 遊佐 みゆき(仙台)

事務局長 稲垣 眸 (東京)

会 計 藤田 ひろみ(福岡)

常任委員長 企画委員長 佐藤道子(東京)

組織委員長 鈴木千恵子(東京) 広報委員長 二/宮寛子(東京)

国際委員長 山野幸子(札幌) 財務委員長 土田アイ子(東京)

ヤング 委員長 堀 倫子(東京)

会計監査 高嶋 洋子(和歌山)

基調講演 共生社会を創る"リーダーシップとコミュニケーション" 講師:藤木 美奈子さん(作家。NPO法人WANA関西代表理事。(有)アミダ代表取締役社長)

講師の藤木美奈子さんは、自身が児童虐待、家族間の 暴力(DV)の当事者であり被害者で、26年間暴力に苦しめ られてきた体験を全国各地で講演する傍ら NPO 法人 WANA 関西を立ち上げ、雇用という形を選べない女性たち の経済的自立を支援していらっしゃいます。また現在、大 阪市立大学創造都市研究科博士後期過程に在籍し、更正 施設で社会復帰プログラムを実践研究中。

第1部 ビジネスの上達のために、「人間をよく知る」では、 自己紹介の後、おそらく日本で初めて実名で家族からの暴 力を告発した本を出版したことから、1994年に新聞取材を 受け、これも初めて家族間の暴力の存在が認識されたとい う藤木さんの今日までの経緯が話され、暴力の結果、被害 者はコミュニケーション不全に陥ると話は進みました。被害 者は、他者との関わりにおいて恐れや攻撃性を経験したこ とで人との関係をどう築けばいいかわからなくなるため、心 の回復を図ることが必要だが、それには認知行動療法(藤 木さんの場合は、本を読みながら日常生活の中で様々な 事柄や出来事に対する思い方を修正していく)が効果的で あること、また経済的自立が大きな課題であることを話してく ださいました。そして藤木さんは、「本人が原因ではなく、 様々な理由から経済的に自立できなくなり孤立した人で、 後に社会に復帰する状態である人を『社会的遭難者』」と定 義していらっしゃいます。

第2部 ビジネス上達のために、「集団(グループ)をよく 知る」では、現在大学で研究されている更正施設での社会 復帰プログラムを通して、いかに対人関係・コミュニケーショ ンがキーポイントになるかが話されました。前述の「社会的 遭難者」は更に「ソーシャル・キャピタルから社会的に排除 された人」と定義づけられ説明が加えられました。ソーシャ ル・キャピタルは、今、注目されている言葉で「人々の協調 行動を活発化することにより社会の効率を高めること」で、 言いかえれば、人々が持つ信頼関係や人間関係のこと。

つまり「社会的遭難者」は社会が持つ信頼関係や規範、 ネットワークの枠の外に追いやられた人間で、人間不信の 塊である。人との関わりあいを極力避けて施設にたどり着い た人々は集団に慣れるところから始める必要があるため、 社会復帰をめざす更正プログラムは、"人は孤立しては絶 対に生きていけない"ということを理解してもらうことが特徴 で、具体的には5人~8人のグループで、様々な課題を設 定してグループワークをしているそうです。

藤木さんはご経験から、言語によるコミュニケーションの 他、視線、座り方などの態度、表情といった非言語によるコ ミュニケーションの大事さを示され、更に「コミュニケーション 力がつくと、就労に必要な報告、確認という基本的スキルを 身につけることや認知(物事に対する捉え方)の歪みを正 すことが重要になる」と仰います。そして「認知の歪みは、認

知が歪んでいる人の発言や行動をみて、それを自分に置 き換えてみてこそ初めて腑に落ちるものである。そしてそん な経験を積むことで社会への信頼を蘇らせることができる。 集団の持つ力がいかに大きなものかがわかる」とのことでし

第3部 ビジネス上達のために、「自分をよく知る」ではリ ーダーシップについて話されました。

まず「リーダーシップはカリスマ性やパーソナリティー (個々の性格)ではなくスキル(技術)であり、訓練により身 につくものである」ということと、「リーダーシップは集団に対 してだけでなく一対一のコミュニケーションでも発揮すべき もので、上層部の人のみに要求されることではない」というこ と。その二つをおさえた上で、PM理論と状況リーダーシッ プ理論について述べられました。PM理論のPはパフォー マンス、Mはメンテナンスで、P行動は仕事(課題)に直結し た行動(上司として指導·指揮するなど)、M行動は人間とし て部下への人間的な優しさや思いやり、集団としてのまとま りの維持に直結した行動(傾聴・慰労など)で、双方とも能 力の高いPM型が理想的で最も有効なスタイルである。一 方、状況リーダーシップ理論は、リーダーシップは職場が困 難状況である、疲弊状況であるなど、状況によって求めら れる人物が違い、また相手(部下)の成熟度によってリーダ ーシップのとりかたを変える必要があるというものでした。

まとめとして、「共生社会は人間に支えられた社会であり、 最も大切なのはコミュニケーションである」との観点から共生 社会を創るための5つの視点が掲げられました。

- 1 各人が、しっかりとした自分を持ちながら帰属意識を持 ちうる社会
- 2 各人が、異質で多様な社会をお互いに理解し認め合 い受け入れる社会
- 3 年齢、障害の有無、性別などの属性だけで排除や別 扱いされない社会
- 4 支え支えられながらすべての人がさまざまな形で参加・ 貢献できる社会
- 5 多様なつながりと、さまざまな接触機会が豊富にみられ る社会

お話に引き込まれているうちに時間が過ぎ、1時間半 の講演は「社会的遭難者を生まないために、周囲の繋がり を断ち切らないで」という藤木さんの強い思いが込められ たメッセージで締めくくられました。

お話を伺い"リーダーシップ"というものを理論的に考え ることで、自分自身の今の姿を振り返り、今後のあり方に活 かすキーポイントを得ることができました。と同時に、私たち は人との繋がりのなかでこそ、学び、気づき、成長し、変わ っていけるのだと再認識しました。「人との繋がりは宝もの」 との思いを新たにした時間となりました。

ws 1

# 「働く女性のリーダーシップ」

コーディネーター:布柴 靖枝(仙台) 二ノ宮 寛子(東京) 記録・会場係 中西 葉子(和歌山)

・会場係 平西 葉子(和歌山) 参加人数26名(内会員26名)

B P W I の考えるリーダーシップとは? 財政力 専門力 コミュニケーション ネットワーキング(会報 38 P 18) < グループディスカッション >

あなたにとってのリーダーのイメージとは? モデルは? 先輩、上司といった身近に存在する人が多い/ モデル は様々であるが、調整力、状況判断力、知力・心・行動力を持ち尊敬でき、自分を持ち、人をほめて使えるひと

リーダーに求められるものとは?リーダーの資質とは? 素直さ、固定概念を壊せる勇気をもっている / 心優し い、決め細やか / 決断力、幅広い知識、責任感を持ち、 信頼を裏切らない

これからの時代を担う新しいリーダーの資質とは? 国際社会に通用し、多角的にものごとを捉えて行動できる / 法的な知識も有し、確かな洞察力、情報分析力に優れている / 若い人の意識変化にも臨機応変対応し、指導ができる / プロセスを明らかにし透明性がある / 自分の能力を正しく評価できる / 新しいところへ一歩踏み出せるチャレンジ精神がある

リーダーとして今のあなたにできることはなんですか? 部下を好きになること、信頼する、長所を見つける、逃げない / 若いメンバーや部下を育成する / しっかりものが言える

# <提言>

文部科学省の「キャリア形成のための教育ガイドライン」を元にこれにBPWIでいわれているリーダーとしてプラスアルファし、 人間関係形成能力(コミュニケーション能力・自己理解他者理解・問題解決能力・ネットワーキング力) 意思決定能力(選択決定能力・課題解決能力)

将来設計能力(予算・財政を読み取り、将来計画を立てるちから・計画実行能力) 情報活用能力(必要な情報を収集し、選択・活用していく力)の力を個々人が身につけ、女性リーダーのロールモデルになっていくことが重要である。



WS

# 緊急!今のBPWの課題

コーディネーター:黒崎伸子(長崎) 藤田ひろみ(福岡)

> 記録・会場係 塩﨑智子(和歌山) 参加人数33名(内会員33名)

<u>目的</u> 50周年を迎えようとしているBPWであるが、ここ数年、さまざまな問題が出てきている。それらのうち、連合会が早急に解決すべき問題 組織 財政 活動内容について考え、解決策を見出す。

1.組織の強化のための解決策は?

# 会員増のために

- ・人数は減っているが、地域に見合った人数である
- ·若い人たちのニーズに合っていない(職場ごとの連帯等)
- ・若い人たちは子育てやパートなどで忙しく余裕がない
- ・年長者が多すぎて若い人は威圧感をもつ。 せっかく入 会しても続かない

# 組織活性のために

- ・各ブロックから一人は役員を選ぶ
- ・情報の伝達をメールにばかりに頼らない
- ・ブロック研究会は大変だが、親近感が生まれ会員同士 の交流にはよい
- ・CSWやスピーチコンテストは、若い会員確保には有効
- 2.財政:財政難の原因を探り、その解決法を見出す 今 期の施策にしたい
- ・会費値上げは仕方がない
- ・はじめに予算ありきではなく、予算に見合う事業をすべき
- ・会員増のために必要なことには思い切って捻出する べきではないか(PRのため)
- ・支出を減らす。(事務所費・会議の持ち方に工夫)
- ・連合会と単位クラブが協同して講演会などを行う(例: 全国が同じテーマや同じ講師で同一事業をする)
- ・役員会の交通費が出ないのは組織としておかしい 健全財政をめざす
- 3.魅力あるBPWであるための活動の提案
- ・クラブのない地域・県に新しいクラブを
- ・優秀な人材を講師などに派遣できるような人材登録を 再考して欲しい
- ・会員一人一人がBPWに帰属する意義を感じて輝ければ、結果はついてくるだろう

# <提言>

社会のニーズに合った BPW の活動の見直しと積極的な 宣伝活動によって、組織強化ができるのではないか。連 合会と各クラブやブロックがいっしょになって取り組める ような事業展開をしていく。 ws 3 繋がる...地域で、職場で、そして NPO と

コーディネーター: 宮本 久美(和歌山) サポート: 佐藤道子(東京) 記録・会場係 小川 朱寿子(和歌山) 参加人数名(内会員 35 名)

コーディネーターから問題提起があり、その後 5 グループでワーク。

# 問題提起

女性の抱える問題の解決は社会づくり、暮らしづくりと深く関わっている。地域や職場、NPO で活動している人たちへの働きかけと連帯が重要であり、それが解決の力になる。そのために BPW は何をするのかを各グループで話し合った。

# 進め方

各グループで司会、記録者の選出、自己紹介、グループ討議を行い、その後全体討議。

# 各グループからの発表まとめ

- ・BPW の会員は、多彩な分野で活躍している。キャリアも 十分ある。しかも BPWI は、国連の諮問機関であり、世 界に発信できる組織である。自信と誇りを持って、BPW をアピールし外へ発信していこう。
- ・行政や他の団体、企業と繋がっていくことが大切。そのために BPW がこんな団体だと PR していくことが必要であり、協働して一般の人に対して魅力的テーマで活動することも必要。
- ・BPW の会員の高齢化は進んでいるが、20 代、30 代は、働き方に悩み、キャリアアップの道を模索している現状がある。BPW の会員は、若い人のロールモデルになれるし、なっていかなければならない。若い人に繋げていくことが求められている。それだけのキャリアを持っている。BPW として若い人たちのためのキャリアアッププログラムを実施していく必要がある。
- ・活動するには、お金が必要であり、行政企業から資金 援助が必要だ。お願いしていただくのではなく、提案し、コンペで勝ち取ってくる企画力とエネルギーが求められている
- ・会員の高齢化が課題だが、若い世代と繋がっていくためには、インターネットの活用が不可欠。特に携帯電話ネットをやらないとだめ。
- BPW の活動は、いろんな分野にまたがった広いものだ。 だからこそ、いろんなところに関わっていけるところが BPW の良さ。いろんなところに関わっている会員がい て、いろんなアンテナがあるのが BPW の強みだ。

WS

4

日本 BPW 連合会の活性化・昨年の WS を踏まえて、メリダコングレンスに向けて

ユ-ディネーター:豊田キヨ子(関東) 発言者:大森澄子(武蔵野) サポート:木下弓子(名古屋)

記録・会場係 栗山有香子(和歌山) 参加人数16名(内会員16名)

### 提案、まとめ

- ・メリダコングレスに向けて、役員以外の会員も含めたプロジェクトチームを立ち上げる。
- ・コミュニケーションをしっかり取り合えるように十分論議 をしてコンセンサスを取ることが大切。
- ・前回のコングレスでの決議案を検証し整理して履行に むけて活動する。
- ・メリダコングレスに向けて日本を印象づける準備をする。
- ・日本の良いところや明るさをアピールする。草の根外交 の積み重ねが信頼関係につながる。また、ほめる外交 も必要。
- ・スイスでの決議をニュースレターに載せて全員に周知 していただきたい。

# 発言者大森さんから

・通信手段としてメール等が中心になってきたが、IT を 活用していない会員もいるので情報の共有ができな いなど混乱があった。



写真 (上から): WS2/WS3/ WS4の様子





# 特別寄稿

自然科学系分野における男女共同参画の現状と東北大学の取り組み

- 杜の都女性科学者ハードリング支援事業とサイエンス・エンジェル活動

東北大学女性研究者育成支援推進室 東北大学大学院生命科学研究科 布柴達男

男女共同参画基本計画において、科学技術系研究分野における女性研究者の参画の重要性が指摘されている。しかし我が国の女性研究者比率は11.9%と、米、仏、英(それぞれ32.5、27.5、26%)に比べて極めて低く、上位の職層になるほど比率の低下が著しい。また既婚率や子どもの数も同世代女性に比べて極めて低く、女性研究者が、研究か結婚かまた子供をもつか否かという選択に迫られている現状がある(男女共同参画学協会連絡会,2004年)。この状況改善に向けて、第3期科学技術基本計画では、2020年までに25%にするとの数値目標が掲げられている。

東北大学は、我が国で初めて女子学生入学を認めた 大学という伝統のもと、平成13年全学組織「男女共同参 画委員会」を発足、翌年の「男女共同参画推進のための 東北大学宣言」を指針とした取り組みを行ってきた。さら に今年度、科学技術振興調整費女性研究者育成支援 モデル事業として本学の提案した「杜の都女性科学者 ハードリング支援事業」が採択された。

この事業では、自然科学系分野の女性科学者がキャリアパス形成におけるハードルを乗り越えるため、

- 1)育児·介護支援、
- 2)環境整備、
- 3)次世代支援の3つを柱とするプログラムを、地域と連携しつつ全学的に展開している。

中でも次世代支援のサイエンス・エンジェル(SA)制度は、その独自の取り組みが注目を集め、多くのメディアで取り上げられている。この制度は、女子大学院生を SA として雇用し、理系志望の女子高校生に対して研究紹介や交流を行い身近なロールモデルとなるとともに、その体験を通じた SA 自身の自己啓発を目的としている。これまでに、オープンキャンパス、女子校出張セミナー、男女共同参画学協会連絡会シンポジウムなどで、研究紹介や交流などの活動を実施してきた。さらに 12 月 23日に本学創立 100 周年記念事業と毎日新聞との共催で開催された「理系白書シンポジウム 夢を形にするチカラ女性研究者ってかっこよくない?」では、プレワークショップ「集まれ!科学者を夢見る女子高校生!!」の企画・運営

を行った。このワークショップには、研究者や理系進学を志望する女子高校生 52 名と SA18 名が参加し、SA がファシリテータを務める小グループに分かれ、お互いの夢の実現に向かってディスカッションを行った。テーマは、「理系の女の子って?」「私の気持ち、親の気持ち、先生の気持ち」「大学生になった自分」「10 年後、どうしてたい?」の4つで、理系白書シンポジウムのパネルディスカッションに女子高校生の「生の声」を提供した。

SA 自身、高校時代の理系選択に際し、親や進路指導の先生から反対された経験も少なくないという。そのこともあってか、SA の女子高校生への想い、特に科学の面白さを伝えたい、科学への興味や理系への進学を諦めないでほしいという気持ちは大変熱い。「夢をあきらめないで」というメッセージを発信し続ける SA 達や科学者を夢見る理系少女達のためにも、研究にその能力や情熱を注ぎつつも子をもつ親として、ライフ/ワークバランスのとれた生活が送れるような男女共同参画社会を早期に実現したいものである。

# 東京クラブ例会風景

2006 年 11 月例会の様子。右が布柴氏。左は現東京クラブ会員で JICA 専門員の鈴木陽子氏。この日は講師としてカンボジアでのジェンダープログラムについて話していただきました。



# BPM の支援に感謝!

上記特別寄稿は、布柴前連合会副会長のパートナーが昨年 11 月の東京クラブ例会にゲスト参加されたご縁で寄稿をお願いし昨年中にお預かりしたものの、前広報委員長の都合で掲載がだいぶ遅れてしまったという次第です。 あなたの身近な BPM の紹介・・・これからシリーズ化??

# 第4回ヤングスピーチコンテスト全国大会審査結果

2003年より開催してきたヤングスピーチコンテストは和歌山大会で第4回目となりました。今回も素晴しい5名のスピーチが披露されました。

# 最優秀賞

下田智恵さん『保育に対する思い』(西日本ブロック 代表)

# 連合会会長賞

能登千織さん『私の仕事 今を生きるアイヌ』(北海道・東北ブロック代表)

# ヤング BPW 賞

二塚綾さん『私と仕事』(関東・山梨ブロック代表) 山下真紀さん『私と仕事・職業』(中部ブロック代表) 山上昌代さん『私と仕事・職業』(近畿ブロック代表)

# 審査の経緯

和歌山市長のパートナー:大橋彰代氏、㈱島精機 製作所代表取締役社長:島正博氏をゲスト審査員に 迎え、各クラブ会長らによる投票で審査をしました。 北海道白老町でイオル再生事業を推進する学芸員と して働く能登千織さんは、アイヌとして生まれ、ア イヌ文化保存と継承の事業に関わるようになったい きさつを語り、山梨県甲府市の社会福祉協議会に勤 務する二塚綾さんは、福祉という仕事から受けた影 響とこれからの自分について、愛知県名古屋市でフ ランス料理店のオーナーシェフをする山下真紀さん は、フランスでの修行と開業の苦労と楽しさを、ま た色彩心理講座講師である山上昌代さんは色彩心理 についてわかりやすく説明した上で、これからの自 分と仕事について語りました。長崎市で認可外保育 施設を経営する下田智恵さんは保育に興味を持ち、 ニュージーランドで保育ボランティアを経験した後 帰国して施設を立ち上げたことについて熱く語りま した。

各ブロックで選出されたスピーカーのスピーチはどれも心がこもっていて素晴しく、和歌山市長のパートナーである大橋彰代さんからも「すばらしいスピーチに感動しました」とコメントをいただきました。



(写真 後左から: 二塚さん、山上さん、 山下さん 前左から: 能登さん、下田さん)

# 直近のブロック研究会のお知らせ

開催日が近づいている 2 ブロックのブロック研究会をお知らせいたします。お時間のある方はお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

# 関東・山梨ブロック

「国際社会に求められる女性リーダーとは~第 61 回国連総会・第3委員会に NGO を代表して日本政府代表代理として参加して~」

講師:大谷美紀子氏(弁護士)

日時: 6月23日(土)13:30~16:00(前半に ヤングスピーチコンテスト開催)

会場:(財)津田塾会 5階 503号室

人権人道問題、公法を専門とする大谷美紀子さんは 2005 年秋から国連総会・第3委員会に参加されています。大谷さんの弁護士としての活動や国連総会でのお話をお聞きし、活発な質疑応答を通して双方向型の研究会にしたいと思います。どうぞお楽しみに。

連絡先: 東京クラブ (二ノ宮) FAX 03-3394-9508 hirokom@tim.hi-ho.ne.jp

# 中部ブロック

「映画の中の働く女性~アメリカ映画を通して~」

講師:高野 史枝氏(フリーライター・映画評論家)

日時:6月30日(土)14:00~16:00

会場:ウィルあいち(愛知県女性総合センター)3

階大会議室

「執筆活動は常に女性の視点から、矛盾や問題点を 見て・考えて・発信することが自分の永遠のテーマ」 という講師の高野史枝さん。今回、アメリカ映画や その批評を通して働く女性の抱える問題や課題など を明らかに。目からうろこの話をお楽しみに。

連絡先:名古屋クラブ(山本) TEL&FAX 0568-82-8196

# <今後のプロック研究会予定>

北海道・東北ブロック 10月20日(土) 近畿ブロック 10月20日(土) 西日本ブロック 11月17日(土)

詳細等順次お知らせいたします。会場への地図等更に詳しいお知らせは HP に順次アップしておりますので、そちらもご覧ください。

# 中東女性交流について

去る2月3日~11日、外務省と国 連 NGO 国内婦人委員会が協働で 行い、委員会に所属する 11 の国 際的女性団体が持ちまわりで担 当しました中東女性交流で、ヨル ダン・エジプト・パレスチナの 3 国か ら1名ずつ来日し、日本 BPW 連合 会が受け入れ団体となりました(ヨル ダン:ファイファ・ハラフ・ユーセフ・ カラーチェ氏、エジプト:サラ・ハニ ー・ムハンマド・エリ・アッザジー氏、 パレスチナ:アフナン・ユーニス・ア ブダッラー・マフムード氏)。滞在中、 東京と長崎に滞在し、各地の要人と の表敬訪問をしたり研修地に赴い たりし、活発な意見交換を行いまし た。2月4日の東京での「女性と仕 事の未来館」でのシンポジウムには 酒井啓子氏をコーディネーターに お呼びし、144 名の参加者がありま した。2月8日の長崎原爆資料館で のシンポジウムは地元のニュースで 放映され、BPW や中東諸国へのた くさんの関心を得ました。ご協力を いただき、ありがとうございました。

# お知らせ

# 会報広告費振込先

振込先:郵便局

口座記号 10130 番号 43754401

口座名義:日本 BPW 連合会 広

報 佐藤道子

# お振込み時のお願い

振込名は BPW を省略して、クラブ名のみ記載願います 通帳表記は全角 8 文字迄 悪い例×1 ビーピーダブル\_ ×2 ピーピーダプルトウ いずれもクラブ名が不明

## 編集後記

前広報委員長にまだ負ぶさった状態ですが、なんとか第1号を発行することができました。新米ですが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(二/宮)

中東の女性たち

外務省主催

「歓迎夕食会」 於:東京プリンスホテル



(写真:左から

サラ・ハニー・ムハンマド・エリ・アッザジー氏、アフナン・ユーニス・アブダッラー・マフムード氏、ヨルダン大使等、右端ファイファ・ハラフ・ユーセフ・カラーチェ氏)

会報 38 号広告掲載一覧 ご協力ありがとうございました				
クラブ	掲載名	Р	枠	金額
札幌	BPW札幌クラブ	41	2W	30,000
旭川	BPW 旭川クラブ	32	2W	30,000
苫小牧	BPW 苫小牧クラブ	33	2W	30,000
青森	BPW 青森クラブ	42	2W	30,000
仙台	BPW 仙台クラブ	43	2W	30,000
山形	BPW 山形クラブ	44	2W	30,000
米沢	BPW 米沢クラブ	45	1W	30,000
	米沢日報	81	1W	
東京	シグマ工房	24	1W	140,000
	プチポアン(久家道子エンプロイダリー)	27	1W	
	千葉プリント企画	25	1W	
	タカギ	40	1P	
	お好み焼き つばさ	23	1W	
	森の玉手箱	54	1P	
武蔵野	BPW 武蔵野クラブ	35	2W	30,000
関東	細川民族舞踏研究会	82	1P	40,000
山梨	BPW 山梨クラブ	46	2W	30,000
名古屋	BPW 名古屋クラブ	36	2W	30,000
東海	BPW 東海クラブ	56	1P	45,000
	高野医院	28	1W	
愛知	税理士加藤歌子 税理士吉田典保	47	1W	30,000
	スタジオ アーバン	34	1W	
岐阜	BPW 岐阜クラブ	37	2W	30,000
京都	BPW京都クラブ	48	2W	30,000
大阪	BPW 大阪クラブ	49	2W	30,000
神戸	BPW 神戸クラブ	50	2W	30,000
和歌山	BPW 和歌山クラブ	22	1P	40,000
香川	BPW 香川クラブ	51	2W	30,000
福岡	BPW 福岡クラブ	26	2W	30,000
北九州	BPW 北九州クラブ	52	2W	30,000
長崎	BPW ながさきクラブ	38	2W	45,000
	女性議員をふやそう・ながさき	53	1W	